



## 後期基本計画

- 第1章 魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち
- 第2章 多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち
- 第3章 みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち
- 第4章 美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち
- 第5章 効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち
- 第6章 誰もが安全で安心して暮らせるまち
- 第7章 人と人との支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち
- 第8章 人のつながりを大切にし、地域の力が活きるまち







# 魅力あふれる人・文化を育み、 いきいきと交流するまち



角島大橋

- 第1節 文化・スポーツの振興
- 第2節 観光・レクリエーションの振興
- 第3節 みなとのにぎわいの創出
- 第4節 連携・交流の推進
- 第5節 国際化の推進
- 第6節 都市全体の価値・魅力向上



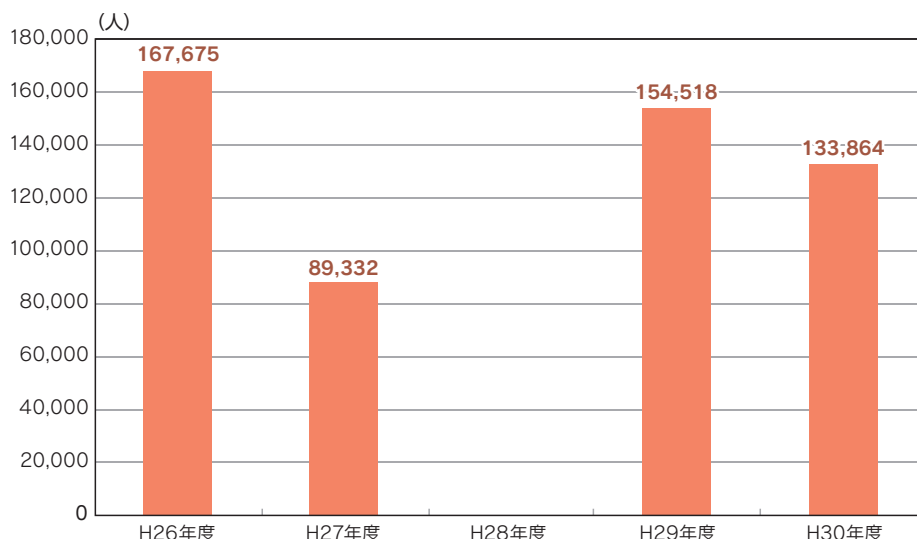
## 現状と課題

古くから幾度となく歴史の転換期の重要な舞台となってきた本市には、先人を偲び、誇りとする、様々な祭りや行事、文献などが大切に護り伝えられ、関門海峡をはじめとした美しい景観や長い年月に培われた風土の中で、多くの文化人が輩出されています。スポーツ面においても全国規模、世界規模で郷土出身選手が活躍しており、余暇時間の増加や生活様式の変化とあいまって、文化活動やスポーツ活動を通じた健康づくりや生きがいづくりへの関心が高まっています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催決定を契機として、多様な文化活動やスポーツ活動が市民に広がりを見せている中、活動の場の提供や指導者等の育成とともに、本市の魅力や事業・施策を情報発信し、各種イベントの開催やキャンプ地誘致等の取り組みを通じて、地域の活性化や市内外の交流人口の拡大につなげていくことが期待されています。市内における芸術文化やスポーツ拠点施設の中には、建物や設備の老朽化が進んでいるものもあり、施設の安全性、利便性、効率的な使用について検証し、市民がより一層主体的に文化活動やスポーツ活動に親しめるような環境づくりが求められます。

先人の営みの中で生まれ、大切に護り伝えられてきた文化財は、明日を生きる私たちの指針となるものです。本市は全国屈指の豊かな自然遺産と歴史遺産を有し、これらを活かしたまちづくりは、市民の地域に対する愛着を育むとともに、都市の魅力を高め、文化財観光による交流人口の拡大にもつながります。多種多様な文化財の保護に一層努め、本質的な価値を守り、その意義を伝承していくとともに、文化財を活用した新たな施策を展開する必要があります。

市民会館利用者数の推移



## 基本方向

- 市民の芸術文化活動の振興に資するため、既存文化施設の環境整備や利用促進を図るとともに、芸術文化の鑑賞機会の充実や市民が自ら取り組む芸術文化活動に対する支援を行います。
- 下関市スポーツ推進計画の基本理念である「スポーツで下関のひとまちも楽しく元気アップ！」に基づき、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にそれぞれの目的に応じてスポーツを楽しめるような環境を整備し、元気な下関市を実現するためのスポーツ施策を推進します。
- スポーツイベントの誘致・開催支援や世界大会等キャンプ地誘致を通じて、交流人口の拡大を図り、観光・文化・経済の交流による地域活性化を図ります。
- 文化財の総合的な把握に努め、適切に保護するとともに、文化財の価値をわかりやすく多くの人に伝えます。また、「関門“ノスタルジック”海峡」の日本遺産登録を弾みに、日本遺産構成文化財をはじめとする各種文化財の積極的な整備活用を推進し、地域の活性化や交流人口の拡大を図ります。



ちびっこスポーツフェスティバル



川棚のクスの森

## 施策体系図

### 文化・スポーツの振興

1. 芸術文化活動の推進及び環境の整備・充実

2. スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実

3. 文化財の保護活動の推進

## 各事業の方向

### 1. 芸術文化活動の推進及び環境の整備・充実

#### (1) 芸術文化活動の推進

芸術文化活動を行う市内の個人・団体を支援するとともに、文化的価値の高いイベントを開催するなど、優れた芸術文化の鑑賞機会の充実や、本市にゆかりのある先人の顕彰に取り組みます。

#### (2) 芸術文化活動による国際交流

姉妹・友好都市、大学連携や民間団体等による様々な交流を活かし、市民参加型の国際文化交流の推進に取り組むほか、平成29年(2017年)にユネスコ「世界の記憶」に関連資料が登録された朝鮮通信使については異国情緒あふれる行列再現等を実施します。

#### (3) 芸術文化活動の拠点施設等の整備・充実

芸術文化活動の拠点的役割を担う市民会館や近代先人顕彰館のほか、社会教育施設である生涯学習プラザや菊川ふれあい会館等の施設について、市民ニーズも踏まえ、老朽化にともなう施設の整備更新等を実施し、機能の充実を図ります。



## 2. スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実

### (1) 生涯スポーツの推進と競技力の向上

いつまでもスポーツを楽しむことができるよう、市民一人ひとりの生活に適し、それぞれの年齢に応じたスポーツ活動ができる生涯スポーツを推進します。また、全国で活躍できるトップアスリートへの夢を育むとともに、指導者の養成や競技活動への支援等を充実させ、競技力の向上に取り組みます。

### (2) スポーツ活動の場の整備・充実

老朽化した下関市体育館等の再編を目的に、新総合体育館の整備を行うほか、庭球場、陸上競技場、野球場など既存体育施設の有効活用や整備・充実、学校施設の有効活用等を推進し、誰でもいつでも、どこでも気軽に安心してスポーツを楽しむことができる環境の充実に努めるとともに、スポーツに関する様々な情報を発信します。なお、今後の施設整備にあたっては、民間施設の設置状況を把握した上で検討します。

### (3) スポーツによる地域活性化

下関海響マラソンやツール・ド・しものせきに代表される魅力ある大規模スポーツイベントの開催や世界大会等キャンプ地誘致などにより、スポーツコンベンションによる地域の活性化を図ります。また、それを支える人材の育成とボランティア登録制度の活用を推進し、市民の誰もが、スポーツを「する」楽しみだけでなく、「観る」楽しみ、「支える」楽しみを享受できるスポーツ施策の推進に取り組みます。

## 3. 文化財の保護活動の推進

### (1) 歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

指定時と大きく環境が変化した指定文化財の管理状況を適切に把握し、所有者に対する支援を行うとともに、未指定文化財を調査し、文化財の総合的な把握に取り組みます。また、指定、未指定、種別等にかかわらず、地域の視点から豊富に存在する文化財を幅広く捉え直し、まちづくりや観光と連動した活用を図ります。また、認定された日本遺産を最大限活用し、関門圏域の官民が一体となって、地域の魅力を国内外に積極的に発信し、誘客に寄与する各種の活動を展開します。

## (2) 文化財の整備・活用の推進

市民の貴重な文化資源を守り、後世に伝えるため、天然記念物川棚のクスの森などの自然遺産の保護や、有形文化財長府毛利家遺品の公有化等に取り組むとともに、史跡綾羅木郷遺跡、長州藩下関前田台場跡などの記念物の整備・活用を推進します。

### 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
芸術文化活動の推進 及び環境の整備・充実	<b>芸術文化活動の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化団体等の育成、支援</li> <li>・優れた芸術文化の鑑賞機会の充実</li> <li>・芸術文化活動の促進・支援</li> <li>・芸術文化、先人顕彰の情報発信</li> </ul> <b>芸術文化活動による国際交流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型イベント等の開催</li> </ul> <b>芸術文化活動の拠点施設等の整備・充実</b>	市 民間・市 民間・市 民間・市 民間・市 市
スポーツ活動の推進 及び環境の整備・充実	<b>生涯スポーツの推進と競技力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ参画人口の拡大</li> <li>・スポーツ指導者の確保・育成</li> </ul> <b>スポーツ活動の場の整備・充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下関市体育館の整備</li> <li>・庭球場、野球場等の整備</li> <li>・学校施設の有効活用の推進</li> </ul> <b>スポーツによる地域活性化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツによる交流事業の推進</li> <li>・世界大会等キャンプ地誘致や合宿誘致の推進</li> <li>・各種競技大会（全国大会、国際交流大会等）の開催、誘致</li> </ul>	民間・市 民間・市 市 市 市 民間・市 民間・市 民間・市
文化財の保護活動の推進	<b>歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護と総合的把握</li> <li>・日本遺産を含めた文化財のまちづくり活用</li> </ul> <b>文化財の整備・活用の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡の整備・活用</li> <li>・自然遺産の活用促進</li> </ul>	民間・市 民間・市 市 市



## 目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
1	文化・芸術活動に関して、市民がかかわる創作活動・行事への参加、鑑賞機会があると感じている割合	H30	29.04%	R6	33%
2	市民一人あたりのスポーツ施設年間利用回数	H30	3.83回	R6	4.5回



トルコ柔道事前キャンプ



勝山御殿跡



下関海響マラソン

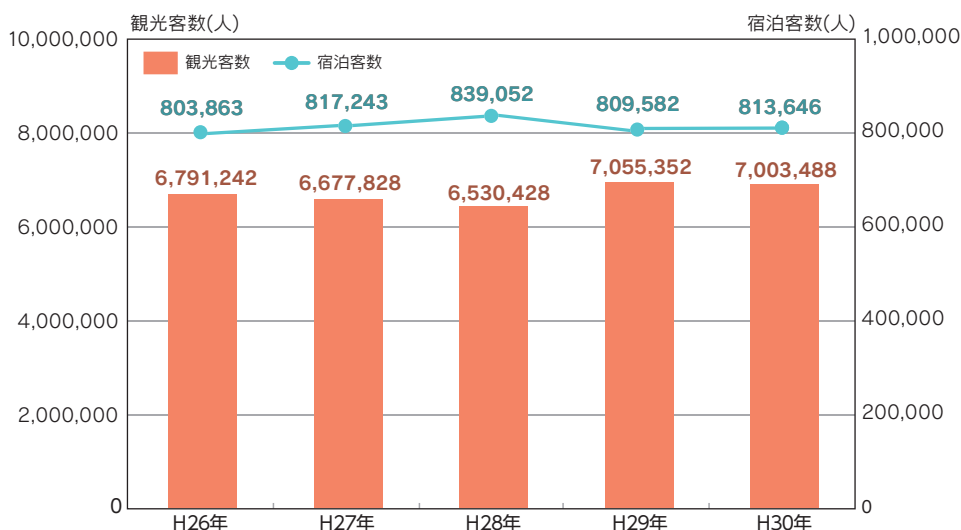
## 現状と課題

本市には、関門海峡をはじめとする海、山、温泉などの自然や、ふくに代表される美味しい食材、先人が織りなしてきた歴史・文化等、多種多様で豊富な観光資源を有することから、年間およそ700万人の観光客を数える、県下有数の観光都市です。観光は、幅広い産業に波及する総合産業として地域の経済に大きな影響を与え、結果として定住人口の拡大にまで効果が及ぶ可能性がある主要な産業です。現在、全国的に定住人口の拡大が容易に望めない中、本市においても観光客増加による交流人口の拡大や、観光地として数段のランクアップを図ることは大変重要です。

このため、国内外からの観光客や宿泊客をさらに増加させ、下関市観光交流ビジョン2022に掲げた、2022年の観光客数1,000万人、宿泊客数100万人の目標の実現に向けて、増加する観光客のニーズに的確に対応し、本市への誘客をさらに推し進めることや、増加する外国人観光客の消費行動の「モノ」消費から「コト」消費への移行を踏まえ、インバウンド消費をさらに拡大していくことが重要です。こうした意識の中、2017年には下関市観光交流ビジョン2022の中間年となったことから、社会情勢の変化に対応するため施策の修正と追加を行いました。下関市観光交流ビジョン2022の数値目標を確実に達成するため、引き続き、観光客の形態やニーズの変化に柔軟に対応しながら、多彩な切り口からの観光プラン提案や観光資源の発掘による本市観光の魅力向上をはじめ、観光資源のネットワーク化、心のこもったおもてなし、観光情報の充実等、官民一体となって着実に取り組んでいく必要があります。

また、健全なレジャー施設として長年親しまれているボートレース下関については、ボートレースファンのみならず、広く市民にも親しみを持って利用していただけるよう施設やサービスの充実を図っていく必要があります。

観光客数・宿泊客数の推移





## 基本方向

- 観光振興において重要な「企画力」「情報発信力」「ハード・ソフト両面での受け入れ力」を高め、下関らしさを活かした観光企画の立案とともに、適宜適切な情報発信を行い、経済波及効果の高いコンベンション誘致や映画ロケ誘致の充実・強化を図ります。
- 既存観光施設の再整備による観光拠点の充実を図ります。
- 宿泊客の受入環境を整え、観光振興におけるハード面の充実を図ります。
- 外国人観光客誘致に向け、観光メディア、ウェブサイト、SNSを活用した本市の情報発信を行います。また、外国人観光客が円滑に市内を観光できるよう、外国語パンフレットや表示の多言語化に努めるとともに、市民のおもてなし意識の醸成を図り、受入環境の整備に努めます。
- 市財政へ寄与するとともに地域へ貢献するため、利用者及び売上の増加並びに施設全体のポートレースパーク化を目指して、ポートレース事業を積極的に推進します。

## 施策体系図

### 観光・レクリエーションの振興

1. にぎわい観光都市づくり

2. 観光資源の充実

3. 外国人観光客の誘致

4. ポートレース事業の振興



火の山ロープウェイと桜



福德稻荷神社



## 各事業の方向

### 1. にぎわい観光都市づくり

#### (1) 情報発信とおもてなしの充実・強化

官民で組織する、しものせき観光キャンペーン実行委員会等を中心に、より早く、より効果的なキャンペーン内容を企画、情報発信することで、一年365日オンシーズンの観光都市を目指すとともに、観光業務に携わる者だけでなく、市民一人ひとりが本市の魅力を実感し、情報発信できるよう、市民総観光ガイド化を目指した施策を展開し、おもてなしの心を醸成します。

#### (2) コンベンション等の誘致

大きな経済波及効果をもたらす、コンベンションの誘致を交流人口拡大のための重要施策の一つとして捉え、官民協働で学会やスポーツ、文化関連事業等あらゆるコンベンションの開催を実現するため、誘致活動の強化及び受入態勢の充実を図ります。

また、下関フィルム・コミッションによる本市の歴史・文化・地理的資源を活用した映画やテレビ等の誘致を行い、地域の消費需要やその後の観光誘致等を図ります。

### 2. 観光資源の充実

#### (1) 観光施設の整備

既存観光施設においては、安全に、安心して、良好な状態で使用できるよう再整備を行うとともに、老朽化にともない解体した火の山展望台の再整備を行い、受入態勢の充実を図ります。

主要な観光資源である海響館においては、安定した来館者数を確保するために展示計画の見直し、既存設備機器の更新や、来館者の安全性向上を目的とした施設改修等を行い、継続的な魅力づくりを図ります。

また、豊田町の「ホテル」や「道の駅蛸街道西ノ市」をはじめとする地域資源を活用した観光振興・地域振興を図ります。

## (2) 潜在的観光資源の活用

先人から護り伝えられてきた文化財や天然記念物、良好な自然、本市固有の文化や歴史、食材等について、観光資源化を検討し、その活用に努めます。

## 3. 外国人観光客の誘致

### (1) インバウンド情報発信

国内外での商談会や観光展へ積極的に参加し、最新の観光情報を提供することにより、本市への旅行商品の造成を促進します。また、外国人観光客の多くが利用する観光メディア、ウェブサイト、SNSを活用し、国や旅行スタイルに応じたニーズや行動特性に対応する多面的なプロモーションを展開し、本市の情報発信を行います。

### (2) 受入環境の整備

外国人観光客が円滑に市内を観光できるよう、外国語パンフレットや表示等の多言語化を充実させるとともに、語学ボランティア等の人材育成に努めます。

### (3) 観光モデルコース等の整備

外国人観光客のリピーターが増加するにつれて、多様化する「文化」「食」「景観」などの旅行目的や嗜好にあわせ本市特有の観光コンテンツを取り入れた体験型ツアーの造成を図ります。

## 4. ボートレース事業の振興

### (1) 売上の向上

ボートレースチケットショップなどの場外発売場の設置を推進するとともに、ビッグレースを積極的に誘致します。

## (2) 積極的な経営

広域発売の拡充に努めるほか、時代の移り変わりやボートレースのイメージアップ施策にともない、変化するお客様のニーズに対応し、来場者により楽しんでもらえるよう施設の充実を図ります。

また一方で、施設規模の適正化（コンパクト化）を進め、効率的な運営による収益の確保に努めます。

## (3) 地域への貢献

子どもたちが楽しく遊べる施設の整備や、家族全員が楽しめるイベントの開催を通じて地域の活性化に取り組み、「ボートレース下関」のイメージアップ、ひいては新規ファンの獲得へとつなげます。

また、地域に開かれた施設として広く住民に利活用してもらうことで、地域との共生を図ります。



BOAT KIDS PARK Moovi下関



ボートレース下関(ナイターレース)



一の俣桜公園



## 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
にぎわい観光都市づくり	<b>情報発信とおもてなしの充実・強化</b> ・観光向けイベント・まつりの創出・充実 ・官民協力態勢の充実・強化 <b>コンベンション等の誘致</b> ・コンベンション誘致の充実・強化 ・映画等のロケ誘致	民間・市 民間・市 民間・市 民間・市
観光資源の充実	<b>観光施設の整備</b> ・海響館の改修 ・その他既存観光施設の改修、機能向上 <b>潜在的観光資源の活用</b>	市 市 民間・市
外国人観光客の誘致	<b>インバウンド情報発信</b> ・商談会・観光展への参加 <b>受入環境の整備</b> ・受入態勢の強化 <b>観光モデルコース等の整備</b>	民間・市 民間・市 民間・市
ボートレース事業の振興	<b>売上の向上</b> ・場外発売場の設置 ・ビッグレースの誘致・開催 <b>積極的な経営</b> ・広域発売の推進 ・ファンサービスの充実 ・施設の効率的運用と改善 <b>地域への貢献</b>	市 市 市 市 市 市

## 目標指標

No	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
3	観光客数	H30 (暦年)	7,003千人	R4 (暦年)	10,000千人
	宿泊客数	H30 (暦年)	813千人	R4 (暦年)	1,000千人
4	下関港外国人入国者数	H30	78,791人	R6	100,000人
5	ボートレース下関の一般会計への繰出金額	—	—	R6	150,000千円

## 現状と課題

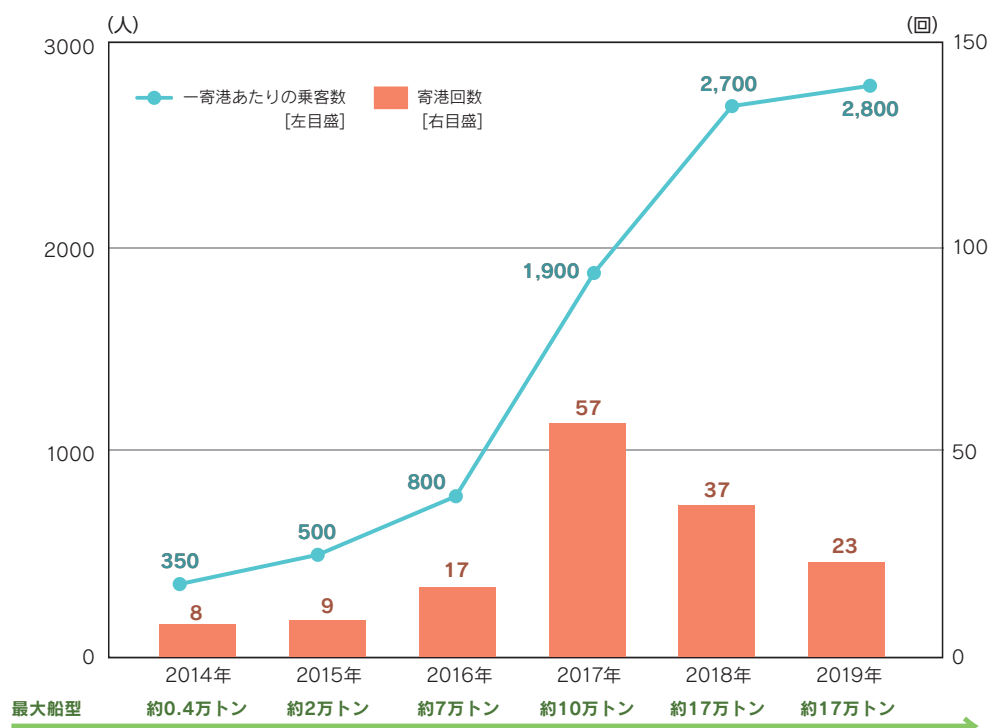
本市の中心市街地に隣接する岬之町地区から唐戸地区の関門海峡を臨むウォーターフロントは、絶好の景観や、歴史、文化、食などの観光資源を複合的に備えることから、365日昼夜ともに市民や国内外からの観光客に親しまれる場として、地域の振興と発展を支えるみなとづくりが期待されています。

関門海峡を間近に臨み、水際線に多様な船の往来等の景観を楽しむことができる下関駅周辺からウォーターフロント地区において、遊歩道や歩道が途切れている区間が存在しているため、みなとまちとしての魅力が十分に活かし切れていないことから、一体的なにぎわいの創出を図るために回遊性の向上が必要です。

また、下関港は「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されたことから、さらなるクルーズ客船の寄港増加に向け、真に魅力的な寄港地となるよう官民連携によるハード・ソフト両面の整備に向けた体制強化が求められています。

一方、外国人が利用者の多くを占める国際フェリーターミナルにおいては、施設の老朽化対策や受入環境の向上などにより、快適な施設環境を提供し、近年増加する訪日外国人の受入体制の充実が求められています。

クルーズ客船の寄港回数・一寄港あたりの乗客数



## 基本方向

- 人々が海を身近に感じることでできる水際線を活用し、周囲の歴史・文化・観光資源と一体となって、民間活力を活用しながらさらなるにぎわい空間を創出することで地域のブランド価値を高めます。
- 増加する訪日外国人やクルーズ船にも優しい快適で利便性の高いみなととして毎日が市民と来訪者であふれる、人々が憩うみなとづくりを目指します。

## 施策体系図

みなとのにぎわいの創出

1. 人々が憩うみなとづくり

## 各事業の方向

### 1. 人々が憩うみなとづくり

#### (1) まちづくりと一体となったウォーターフロント開発

岬之町地区やあるかぼーと地区から唐戸地区は、関門海峡に広がる絶好のロケーションを活かしたハイクオリティなウォーターフロント開発として、下関の歴史、文化、食の魅力を活かし、365日昼夜ともに市民をはじめ来訪者が集うような開発に取り組みます。

#### (2) 交流拠点間の人流動線の確立

下関駅や国際フェリーターミナルから唐戸地区への水際線において、各交流拠点間の連続した人流動線の確立を通じ、回遊性向上、下関駅からウォーターフロントエリア一体のにぎわいの創出を図ります。



### (3) クルーズ客船受入体制の充実

クルーズ客船の寄港数増加及び船型大型化に対応するべく、クルーズ船寄港時に、乗客の入出国手続きを快適かつスムーズに行うことができるよう、ハード・ソフト面より受入体制の充実を図ります。

また、県内及び市内での回遊を促進するため、関係機関との連携を強化します。

### (4) 訪日外国人への利便性向上

国際フェリーターミナルのバリアフリー化や多言語化、情報環境の提供などのソフト対策による機能向上を図ることにより、訪日外国人の受入体制の充実を図ります。

また、鉄道駅との近接性を活かした人流動線を確保し、観光バス、送迎車両等の駐車場の確保を検討します。

## 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
人々が憩うみなとづくり	<b>まちづくりと一体となったウォーターフロント開発</b>	民間・市 市
	・ウォーターフロント開発の推進 ・みなとオアシス下関の活用	
	<b>交流拠点間の人流動線の確立</b>	民間・市
	<b>クルーズ客船受入体制の充実</b>	民間・市 国・民間・市
	・クルーズ客船の誘致 ・国際クルーズ拠点の形成促進	
	<b>訪日外国人への利便性向上</b>	市
	・国際フェリーターミナルの機能向上 ・訪日外国人受入体制の充実	市

## 目標指標

No	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
6	大型クルーズ客船の寄港回数(新港地区)	H30 (暦年)	23回	R6 (暦年)	120回
7	下関港国際ターミナルの旅客者数	H30	162,843人	R6	250,000人



新港地区(長州出島)



クルーズ客船歓迎行事



あるかぽーと地区



「みなとオアシス下関」登録証交付式

## 現状と課題

本市には、自然がもたらす豊かな恵み、先人が培ってきた歴史や文化など特徴的な資源が数多く存在します。これらまちの誇り、貴重な財産を活かし、各関係団体等と協力、連携を深め、活力ある地域づくりに磨きをかけて取り組むことが重要です。このため、第2次の連携中枢都市圏ビジョンを策定し、引き続き市民の誰もが安心して暮らすことができるまちを末永く持続していくため、文化・スポーツや地域産業の振興、人材育成といった幅広い分野で連携し、まちづくりを進めていくことが重要です。

県内では、長州路観光連絡会において長門市・美祢市・萩市と、それぞれ広域での観光振興に取り組んでいるほか、長門市とは「くじら」という共通の地域資源を介して、様々な分野での連携を図っています。

県外では、隣接する北九州市とは関門海峡観光推進協議会を組織し、広域観光連携を推進しているほか、関門地域行政連絡会議を組織し、行政間の情報交換や連携事業を展開しています。また、日本遺産に認定された「関門“ノスタルジック”海峡」の歴史的資源を活用し観光客誘致に取り組めます。さらに、本市の地理的特性、歴史や文化特性において、縁の深い国内他地域との交流にも積極的に取り組んでいます。

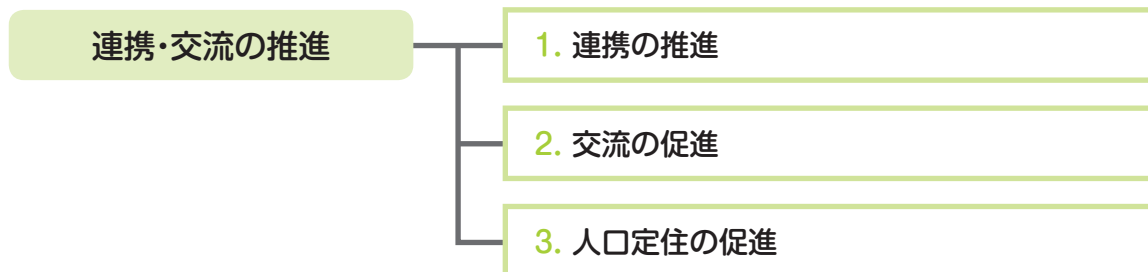
なお、国においては地方分権の流れに基づく新たな地域連携制度の構築を進めており、情報収集に努めるとともに、適切に対応する必要があります。

また、飛躍的な経済成長や地域社会の活力向上が容易には見込めない中、定住人口の維持・創出が求められており、新規移住者への支援だけでなく、市民の市外流出を防ぐ取り組みに加えて、「定住人口」でも観光客等の「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる「関係人口」に着目し、地域外からの交流の入り口を増やす新たな取り組みも必要になっています。

## 基本方向

- 連携中枢都市圏を形成し、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積、生活関連機能サービスの向上に向けて、連携中枢都市圏ビジョンの取り組みを進めるほか、中枢中核都市としての機能強化に努めます。
- 市内はもとより、近隣都市やより広範囲な国内の様々な地域との連携・交流を進め、人口定住を促進するとともに、地域内外の人材の活用により地域の活性化を図ります。

## 施策体系図



## 各事業の方向

### 1. 連携の推進

#### (1) 地域連携の推進

第2次下関市連携中枢都市圏ビジョンに基づき、各取り組みを推進します。また、国の制度を活用し、地域連携の促進を図ります。

#### (2) 広域観光連携の推進

関門海峡観光推進協議会や長州路観光連絡会の活動を支援するなど、近隣都市と連携して観光振興施策を行い、相互補完による観光資源の魅力アップや滞在時間の延長、回遊性の向上による観光客の増加を図ります。

#### (3) 行政間の連携

長門市等、県内の近隣自治体と連携し、地域振興及び行政サービスの向上に努めます。また、北九州市と設置している関門地域行政連絡会議や官民の協議組織を通じて、こども文化パスポート事業、関門地域の共同イベントの開催、大学コンソーシアム関門事業、市民サービスの共同化等、関門地域の活性化に資する事業の検討、情報交換等を推進します。



## 2. 交流の促進

### (1) 市内交流の促進

農山漁村の持つ優れた特性を活用し、都市部と周辺地域との交流を促進します。

### (2) 他地域との交流の促進

広く国内他都市とのスポーツ・文化交流、児童・生徒の交流や歴史・文化・自然資源において縁のある都市との交流等を推進し、地域活性化を図ります。

## 3. 人口定住の促進

### (1) 新規移住者への支援

本市の魅力、生活関連情報を広く発信すると同時に、移住希望者の相談に適切に対応して定住へと導きます。また、あわせて、移住者のニーズに応じた各種支援を行います。

### (2) 定住人口の確保

次代を担う本市の若者の定住意識を高める取り組みを官民連携により進めます。

### (3) 関係人口の創出

本市にルーツがある方や本市へのふるさと納税の寄附者、本市に関する専門的スキルや知見等を有する都市部の人材等、本市に何らかの関係を有し、かかわりを希望する方を対象に、ライフステージに応じた多様な交流の「入り口」となる機会を提供することで「関係人口」の創出を図ります。

## 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
連携の推進	<b>地域連携の推進</b> ・第2次下関市連携中枢都市圏ビジョン	市
	<b>広域観光連携の推進</b> ・県内各市、北九州市と連携した広域観光振興	市
	<b>行政間の連携</b> ・県内各市、北九州市との行政連携	市
交流の促進	<b>市内交流の促進</b> ・都市・農村交流の促進	民間・市
	<b>他地域との交流の促進</b> ・地域特性に応じた交流	民間・市
人口定住の促進	<b>新規移住者への支援</b> ・移住者のニーズに応じた相談や各種支援	民間・市
	<b>定住人口の確保</b> ・若者の定住意識の醸成	民間・市
	<b>関係人口の創出</b> ・新たな地域づくりの担い手確保	市

## 目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
8	ふるさとしものせき応援寄附金の寄附件数	H28~H30 (平均)	4,600件	R6	6,000件
9	本州四端踏破ラリー達成者数	H30	387人	R6	500人

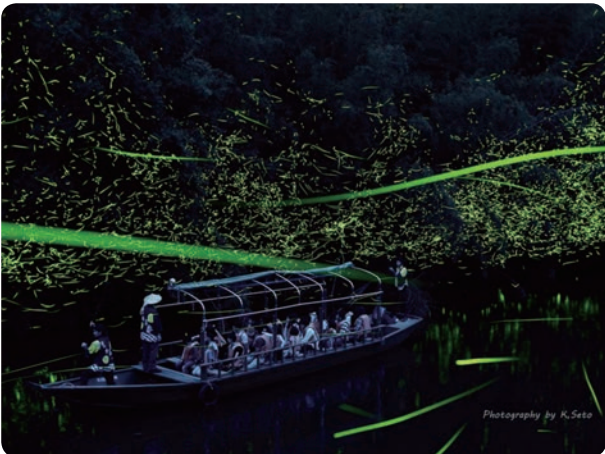
特色ある祭りやイベント等



しものせき海峡まつり



関門海峡花火大会



ホタル舟 (豊田のほたる祭り)



菊川文化産業祭 (ジャンボ巻きずし)



土井ヶ浜海水浴場



豊浦コスモスまつり



他地域との連携・交流



列車「〇〇のはなし」



本州最西端「毘沙ノ鼻」



移住PRイベント「下関Day! スペシャル!!」



## 現状と課題

本市は、海外の5つの都市と姉妹・友好都市の盟約を結んでおり、行政間の交流のほか、文化・スポーツ・経済交流を積極的に進めています。様々な技術の急速な進展によって、人・物・情報等が短時間で国境を越えて地球規模で広がるグローバル化が一段と進み、本市と諸外国とのつながりはますます深まっています。

今後、諸外国とのつながりが多様化していく中で、国際感覚を身に付け、国際社会において信頼される人材の育成が求められるとともに、わが国や本市の歴史や文化を正しく理解した上で、国際的視野に立ち、諸外国の歴史や文化、言語を理解することができる、国際的なコミュニケーション能力等を持った人材の育成、また、人口に占める外国人住民の割合が拡大し続けていることから、外国人住民に対する支援施策の検討と外国人住民を地域づくりの活力にできる体制の整備が必要です。

本市を含む、日本・中国・韓国3か国の11都市で構成する東アジア経済交流推進機構をはじめ、本市からの交換派遣職員や国際交流研修員等により培われた相互ネットワークを活用して、今後も様々な分野で国際交流を促進していくことが重要です。

公立大学法人下関市立大学においては、国が公表した「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」に基づく「教育研究体制—多様性と柔軟性の確保—」の確立のために、留学生交流の推進等、積極的に大学の国際交流を進めることが求められています。

## 基本方向

- 国際社会の一員として国際感覚と認識を持ち、国際的に貢献できる人材の育成に努めるとともに、国際化に対応した人材育成等を目的に国際親善交流を実施している市民団体等を支援します。
- 姉妹・友好都市交流をはじめ、民間団体による様々な国際交流の促進を図ります。
- 外国人住民が安心して暮らすことのできる多文化共生の地域づくりを推進します。

## 施策体系図

### 国際化の推進

1. 国際化に対応した人材育成等

2. 国際交流の促進

## 各事業の方向

### 1. 国際化に対応した人材育成等

#### (1) 国際人としての人材育成等

国際交流、諸外国との相互理解を促進し、国際感覚を醸成するため、青少年海外派遣を推進するとともに、国際化に対応した人材育成等を目的に国際親善交流を実施している市民団体等への支援に努め、市民レベルでの人材育成を促進します。

### 2. 国際交流の促進

#### (1) 姉妹・友好都市等との（経済交流を含めた）国際交流

姉妹・友好都市締結に基づき、釜山広域市、山東省青島市との職員相互派遣を行うとともに、従来からの人的交流を中心とした市民交流に加え、経済的交流による相互都市間の活性化を目指します。特に、日本・中国・韓国3か国11都市で構成する東アジア経済交流推進機構の枠組みを有効活用し、経済、文化、観光等、様々な分野での国際交流促進に取り組みます。

また、ボランティア通訳制度やホームステイ・ホームビジット登録制度を活用して、諸外国との相互理解や市民レベルの国際交流を促進します。

#### (2) 多文化共生による地域づくりの推進

増加し続ける外国人住民が安全・安心に定住することができるよう、支援施策を検討するとともに、外国人住民を地域づくりの活力にできる体制の整備を行います。

また、研修会の実施による外国人との共生認識の啓発や外国人住民の持つ文化特性を活かした地域の魅力創出を推進します。

### (3) 下関市立大学における国際交流

公立大学法人下関市立大学では、第3期中期目標で定めたグローバル化への関心をかん養するため、教育においては、外国研修や留学制度等の充実を図ります。

また、行政や産業界との連携により、世界で活躍する人材の育成や共同研究をはじめとした国際学術交流の推進を図ります。

## 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
国際化に対応した人材育成等	<b>国際人としての人材育成等</b> ・青少年等の海外派遣 ・国際交流支援の充実	市 民間・市
国際交流の促進	<b>姉妹・友好都市等との（経済交流を含めた）国際交流</b> ・ボランティア通訳の育成 ・ホームステイ・ホームビジット事業の推進 <b>多文化共生による地域づくりの推進</b> ・外国人支援施策の検討 ・外国人支援体制の整備 ・外国人材との連携強化 <b>下関市立大学における国際交流</b> ・グローバル化への関心のかん養 ・世界で活躍する人材の育成 ・国際学術交流の強化	市 市  市 市 民間・市  民間・市 民間・市 民間・市

## 目標指標

No	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
10	下関市は、国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められていると感じている市民の割合	H30	46.1%	R6	60%
11	下関市立大学生の卒業時における留学または海外研修の経験者の割合	H30	15.53%	R6	20%





下関市小学生中国派遣研修



留学生の皆さん(下関市立大学)



多文化共生による地域づくり



## 現状と課題

人口減少社会の到来や急速な少子高齢化の進行、地方分権の推進により基礎自治体のありべき姿が模索される中、様々な分野で都市間競争が厳しさを増しています。

このような状況下にあって、これからも本市が「下関の良さ」や「下関らしさ」を持つ、バランスのとれた総合力のあるまちであり続け、交流人口、関係人口の拡大や人口定住の促進を図るためにも、本市が他都市と区別され「選ばれる都市」となるよう、「都市のブランド化」の実現に向け、活気ある若者をはじめとした市民が自ら住む街への「愛着や誇り」を高める取り組みを行っています。

本市には、優れた地場産品や農水産物をはじめ、歴史や文化、観光、スポーツイベント等、魅力を存分に発揮する多種多様な資源があり、これら一つひとつを包含する都市のイメージの向上と拡散のため、各分野が連携し、「オール下関」として一体感のある戦略的な情報発信をより一層行っていく必要があります。

## 基本方向

- 市内外の人や企業から「選ばれる都市」となるよう、下関ならではの都市イメージの向上を図るため、戦略的に情報発信し、「都市ブランド」の確立を目指します。

## 施策体系図

都市全体の価値・魅力向上

1. シティプロモーションの推進

## 各事業の方向

### 1. シティプロモーションの推進

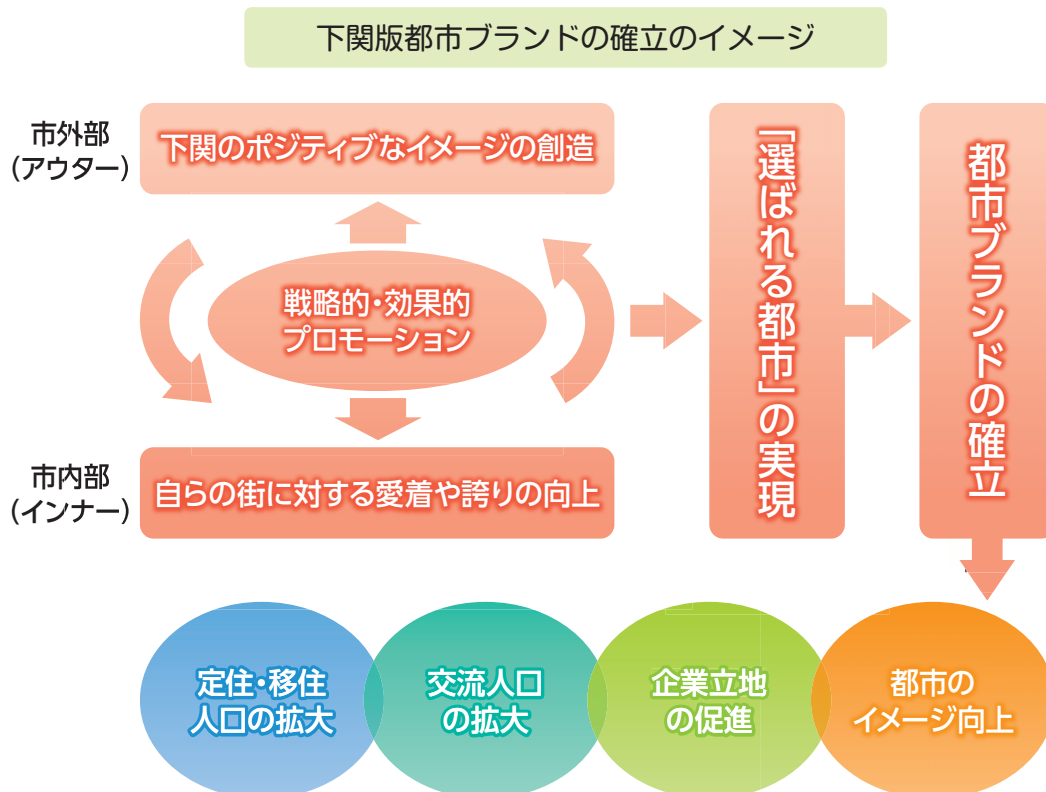
#### (1) 情報発信力の強化

行政だけでなく市民・事業者・市民団体等の情報発信力を強化し、「オール下関体制」により、本市の優れた資源など様々な魅力を一体感を持って発信し、都市全体の価値や魅力の向上を図ります。

#### (2) 戦略的な情報発信

「都市ブランド」を持続可能なものとして定着化させ、そのことにより市民が下関への「愛着・自信・誇り」が高まるといったプラスの循環を生み出すことができるような取り組みを行っていきます。

あわせて、ウェブサイト・SNSなど様々な媒体を活用するほか、ターゲットを明確にするなど、効果的な情報発信を展開することにより、本市の都市ブランドイメージの浸透を図りながら、認知度や魅力度を高め、交流人口の拡大や定住促進等に貢献できるよう取り組みます。



## 主要な事業

事業	事業概要	事業主体
シティプロモーションの推進	情報発信力の強化 戦略的な情報発信	民間・市 民間・市

## 目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
12	市区町村別魅力度ランキング(調査対象数:1,000市区町村)	H30	79位	R6	30位
13	下関市公式フェイスブック、 下関市シティプロモーションフェイスブックページへの 「いいね」の合計	H30	6,200件	R6	12,000件



フェイスブックセミナー(まちづくり協議会)



下関市都市ブランドロゴマーク